

地域バイオマス利活用交付金(ソフト事業)

東北農政局

都道府県	市町村名	地区名	事業実施 主体名	事業内容	評価	目標	達成	個別成果指標	達成	総合評価			備考
										事業実施主体	都道府県	農政局等	
【バイオマスタウン構想を策定するために必要な事業への支援】													
青森県	鶴田町	鶴田町	鶴田町	(1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・バイオマスタウン構想の策定 ・構想策定及び利活用推進に係る協議会の設立・開催 ・関係者による先進地視察	H19	バイオマスタウン構想のステップアップ年度		・構想の策定・公表.....H19.3 [H19.3.29] ・協議会の設立・開催.....4回[4回] ・先進地視察.....1回[1回]		本事業で設定した目標である「バイオマスタウン構想へのステップアップ年度」は、平成19年3月29日にバイオマスタウン構想を公表しており、達成している。 また、個別成果指標も全て達成しており、本事業の目的は全て達成できたといえる。 今後は、バイオマスタウン構想の目標値である、廃棄物系バイオマス90%、未利用バイオマス40%以上の達成に向けて、鶴田町、つがるにすぎた農業協同組合、鶴田町畜産環境改善組合、地元農家等の関係機関と緊密な連携を図った上で、りんご剪定枝の収集・燃料化や食品リサイクルなど生ゴミの分別収集・堆肥化に向けた取組を推進していく。	該当なし	事後評価の提出のあった鶴田町の地域バイオマス利活用交付金事業については、点検評価した結果、個別指標を達成していると認められ、また目標も達成していると認められる。	
秋田県	横手市	横手市	横手市	(1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・協議会等の開催 ・先進地視察研修 ・バイオマスタウン構想の策定	H19	バイオマスタウン構想のステップアップ年度		・協議会等の開催.....2回[2回] ・先進地視察研修.....1回[1回] ・バイオマスタウン構想の策定...H19.3[H19.3]		本事業で設定した目標である「バイオマスタウン構想へのステップアップ年度」は平成19年3月28日横手市バイオマスタウン構想を公表しており達成している。 また、個別成果指標も全て達成しており、本事業の目的は全て達成できたといえる。 今後は、横手市バイオマスタウン構想も明記された廃棄物系バイオマス90%、未利用バイオマス73%以上の目標達成にむけ関係機関・団体等と緊密な連携を図り、その推進に取り組んでいく。	該当なし	事後評価の提出のあった横手市の地域バイオマス利活用交付金事業については、点検評価した結果、個別指標については、個別指標を達成していると認められ、目標達成も見込まれる。	
【バイオマスタウン構想に沿ったバイオマス利活用システムを実現させるために必要な事業への支援】													
岩手県	紫波町	紫波	紫波町	(2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・公用車での試験的運行を行う ・公用車を中心として使用するための給油装置等の購入	H19	バイオマスタウン構想の実現・実践状況		・紫波町の公用車におけるBDFの使用車両...H17未0台 H18未1台[H18未1台]		バイオマスタウン構想に明記した取組工程のうち「民間事業者によるBDF精製・利用普及への支援」として、BDF給油装置の設置等により、目標を達成できた。 また、個別成果指標も達成しており、本事業の目的は達成できたといえる。 今後は、バイオマスタウン構想に明記された「廃棄物系バイオマスの利用率97.0%、未利用バイオマスの利用率51.7%」を目標である平成22年度までに達成できるよう、現在稼働中の堆肥・木質ペレット製造施設等を活用することにより、未利用となっていたバイオマス資源の利用率向上を図ることとしている。	該当なし	事後評価の提出のあった紫波町の地域バイオマス利活用交付金事業については、点検評価した結果、個別指標を達成していると認められ、目標達成も見込まれる。	
山形県	新庄市	新庄市	新庄市	[H17](8)バイオマス構想支援 [H18](2)バイオマス構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 [H17~18] ・本格実施に向けた周知・普及 ・E3による車走行 [H17] ・生ごみ収集モデル地区選定 ・バイオマス堆肥製造実証 ・I7ノル製造実証 [H18] ・生ごみ収集システム構築 ・バイオマス堆肥製造技術確立 ・I7ノル基本方針策定調査	H19	[H17] バイオマス構想の公表市町村は、その実現実践状況 [H18] バイオマス構想の実現・実践状況		[H17] ・本格実施に向けた周知・普及.....市内1/3地区[市内1/3地区] ・生ごみ収集モデル地区選定.....2地区[2地区] ・バイオマス堆肥製造技術実証.....4回[4回] ・I7ノル製造実証.....2回[2回] ・E3による車走行.....県、市公用車10台[10台] [H18] ・本格実施に向けた周知・普及...市内全域[市内全域] ・生ごみ収集モデル地区選定.....2地区[2地区] ・バイオマス堆肥製造技術実証.....3回[4回] ・I7ノル製造実証.....2回[2回] ・E3による車走行.....県、市公用車10台、市民Eカー車10台[県、市公用車11台、市民Eカー車10台] ・I7ノル基本方針策定調査.....調査完了、方針策定[調査完了済、方針策定済]		本事業は、バイオマス資源の堆肥化による土づくりをベースにした安全安心な農業振興及びエネルギー作物によるエタノールというエネルギー製造と自動車燃料活用を図るなど、バイオマス資源の総合活用を目指したものである。良質な堆肥製造、エタノール製造、E3車走行の実証を行ったが、民産学官の協働をテーマに据え、事業実施にあたっては市民への周知と連携を図るなど目標を達成できた。特に、E3の取り組みは、新庄方式として全国の計画に大きな影響を与えることができた。 以上のことから設定した個別成果指標は全て達成しており、事業の目標は達成できた。	該当なし	事後評価の提出のあった新庄市の地域バイオマス利活用交付金事業については、点検評価した結果、個別成果指標を達成しているものと認められる。	
【バイオマス利活用の中期的方針に沿ったバイオマス利活用システムを実現させるために必要な事業への支援】													
青森県	八戸市	八戸市	八戸市	(5)バイオマス変換技術支援 [H17] ・BDF変換装置の購入・設置 ・機械運転業務 ・製品の品質検査 ・製品の使用試験 [H18] ・収集業務 ・機械運転業務 ・製品の利用	H19	バイオマス利活用のための数値目標設定 工程部分の履行		[H17] ・製品の品質基準値 流動点(冬期時)..... -16 [-17.5] 目詰まり点(冬期時)..... -12 [-16.0] 個別成果指標「BDFの製造量」については、油かすや動物性油脂、水分などの不純物を除去するために、BDF製造の過程で過や加熱、一時沈殿させる工程を設けることにより、BDF製造量の増加と品質向上を図る。 また、収集する廃食用油自体の品質を良くするため、一度こしてから出すなど排出方法について市民に対し啓発活動を行う。 さらに、製造装置の運転回数を増やしたり、製造期間を調整して気温によりBDFの品質が悪くなる冬期以外の製造を増加させるなど、BDFの製造量の増加と品質の向上に努め、目標の達成を目指す。 なお、BDF製造量については、現在月間約1.4t製造しており、年間の目標量である11.4tは達成できる見込みである。	×	個別成果指標のうち、「製品の品質基準」と「廃食用油収集量」は達成しているものの、「BDF製造量」が未達成となっているが、製造工程の追加や、排出方法の適正化を市民に啓発するなどの改善策を講じており、目標達成に向けた体制は整備されていると認められる。 事後評価の提出のあった八戸市の地域バイオマス利活用交付金事業については、点検評価した結果、個別成果指標は、1項目で未達成があった。このため、改善計画を作成し達成にむけた取組を行うよう指導する。なお、事後評価時点でBDF実績値5.93tであったが、引き続き改善方向を検討しながら取り組むこととしている。 事業目標は、「バイオマス利活用の中期的方針の取組工程」の履行で、各工程は次のとおり、いずれも達成していると認められる。 H17年度の取組工程 ・「市内大手スーパー10店舗を改装拠点とした廃食用油収集体制の構築」 ・「廃食用油からのBDF製造システムの構築、およびBDFの自家利用による実用化試験」 H18年度の取組工程 ・「廃食用油の拠点改修・BDFの製造、製品の使用を一体化したバイオマス利活用モデルの運用」 個別成果指標の「BDFの製造量」は指標値に達する事ができなかったものの、収集・変換・利用のバイオマス利活用モデルは構築されており、達成している。	改善計画により、改善中		